

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
高橋 千枝子			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	MA (医療)	203 (中級科目)

授業のねらい（概要）	・この授業は、医療経営士の役割・心構えを理解し、医師や病院スタッフとのコミュニケーションの方法など身につけ、医療機関が様々な経営上の問題や困難に対し、広い視野と総合的な観点から、適切な判断と、迅速な行動をもって対処できるために医療・経営の基礎知識を修得し、医療人としての資質を磨く。 ・医療経営の基本である「医療経営士資格認定試験3級」資格取得を目指します。
授業計画	第1回 「診療科目の歴史と医療技術の進歩」 ・医療経営と診療科 技術と密接な関連を持つ医療経営 医療機能のレベルと専門診療科 ・近代医学の確立における診療科の分化 疾病構造、技術構造を反映する診療科 近代医学への道程と内科の誕生 創傷治療が出発点の外科、分娩の介助として生まれた産科 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の歴史を理解し、医療技術の進歩による医療経営の関連などについて再確認すること。（120） 第2回 「診療科目の歴史と医療技術の進歩」 ・近代医学の確立における診療科の分化 その他外科系の分化 小児科・精神科の独立 ・我が国の近代化における診療科 大学医学部に見る診療科の独立、西洋医の養成 医科・歯科医師の標榜と広告、単科病院に見る疾病構造の重圧 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の歴史を理解し、医療技術の進歩による医療経営の関連などについて再確認すること。（120） 第3回 「診療科目の歴史と医療技術の進歩」 ・戦後の技術進歩と診療科 医療技術の新歩における3つのピーク 戦後に誕生した診療科 ・診療科の課題と展望 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の歴史を理解し、医療技術の進歩による医療経営の関連などについて再確認すること。（120） 第4回 実務演習 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の歴史を理解し、医療技術の進歩による医療経営の関連などについて再確認すること。（120） 第5回 「日本の医療関連サービス」 ・巨大化する医療関連産業 病院を取り巻く環境変化 戦後実行のための院内体制 医療関連産業の範囲と位置づけ ・さまざまな医療関連産業の動向と展望 製薬会社、医薬品卸とSPD、共同購入、医療機器 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の医療関連サービスを理解し、病院を取り巻く環境変化による医療経営の関連などについて再確認すること。（120）

第6回	「日本の医療関連サービス」 さまざまな医療関連産業の動向と展望 透析関連ビジネス、循環器領域 整形外科領域、手術室 病院情報システム、検体検査 病院建築設計とCM、医療事務 患者給食、金融、保険薬局、検診事業、介護事業 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の医療関連サービスを理解し、病院を取り巻く医療関連産業の動きと医療経営の関連などについて再確認すること。（120）
第7回	「日本の医療関連サービス」 医療関連産業とのかかわり方 外部委託と内部提供 取引業者の選定基準 医療関連産業とのかかわり方 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の医療関連サービスを理解し、医療関連産業のかかわり方と医療経営の関連などについて再確認すること。（120）
第8回	「患者と医療サービス」 総論 医療サービスの定義と理解 サービスの定義ーサービスとは何か 医療サービスの定義①ー医療はサービスであるか否か 医療サービスの定義②医療機関が提供するサービスの2種類 （医療サービスと患者サービス） 医療サービスの理解ー医療の質と患者サービス 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の患者と医療サービスについて、定義と理解、さらに医療の質について、理解し医療経営の関連などについて再確認すること。（120）
第9回	「患者と医療サービス」 - 総論 医療サービスの定義と理解 医療従事者から見た医療サービス、患者から見た医療サービス 地域医療連携における医療サービスの役割 - 各論 医療サービスの実践 医療サービスに求められるスキル 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の患者と医療サービスについて、定義と理解、さらに医療サービスのスキルなど理解し、医療経営の関連などについて再確認すること。（120）
第10回	「患者と医療サービス」 現場から求められる医療サービスー①未収金対策、②待ち時間対 策 1 海外との比較、2 さまざまな対策、3 報告、事例 ③適切な トリアージ 新しい医療サービス提供者の職種、医療・患者サービスの実践ー 医療コンシェルジュの導入事例 欧米における医療サービスの現状 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の患者と医療サービスについて、医療サービスの現状などを理解し医療経営の関連などについて再確認すること。（120）
第11回	実務演習 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った診療科目の患者と医療サービスについて、医療サービスの現状などを理解し医療経営の関連などについて再確認すること。（120）
第12回	「生命倫理/医療倫理」 総論ー生命倫理の基本的な考え方 患者の権利侵害の歴史と生命倫理、患者の権利/医療訴訟 人間の尊厳（dignity）/SOL・QOL

	倫理問題へのアプローチ方法、事実と価値／倫理理論 倫理原則／徳理論、倫理4原則の分析、倫理4原則の対立 インフォームドコンセント 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った生命倫理／医療倫理の基本的考え方を理解し、医療経営の関連などについて再確認すること。（120） 第13回 「生命倫理/医療倫理」 医療に関する意思決定と代理判断、守秘義務／個人情報保護 「医療者－患者」関係 ・各論一生命倫理／医療倫理の具体的テーマとその課題・展望 生殖補助医療、人口妊娠中絶、遺伝子検査・医療をめぐる倫理的 問題、最先端医療－クローン技術・再生医療など 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った生命倫理／医療倫理の基本的考え方、さらに守秘義務などを理解し、医療経営の関連などについて再確認すること。（120） 第14回 「生命倫理/医療倫理」 研究倫理、臓器移植 認知症ケアの倫理、終末期医療、事前支持、成年後見制度 倫理委員会／倫理コンサルテーション 医療者の労働環境・安全－QWLの提言 「コラム」川崎協同病院事件 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った生命倫理／医療倫理の基本的考え方、研究倫理、臓器移植などを理解し、医療経営の関連などについて再確認すること。（120） 第15回 実務演習 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：期末テスト・「医療経営士資格認定試験3級」の資格へ向けての総復習をする（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	1. 医療経営の基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力を身に付けている。 2. 実践力を身に付け、医療の経営に、組織において協働できる能力を身につけている。 【身に付くスキル】 課題解決力・思考力
到達目標	医療経営士としての能力を身につけ、さらに「医療経営士資格認定試験3級」を受けることが条件 となります。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題については、修正などを記入の上返却します。
履修上の注意	①医療機関の経営に必要な知識とコミュニケーション能力を身につけるための授業をしていくので、 真剣に積極的に習得してほしい。 ②遅刻、おしゃべり、飲食、携帯電話厳禁 ③教室は全講義が座席指定とする。 ④「医療経営士資格認定試験3級」の資格試験を受けることが条件となります。 この資格試験を目指すには、 医療経営士Ⅰ・Ⅱを受けることが望ましい。 ⑤「医療経営士資格認定試験3級」の受験料は8640円必要です。 ⑥医療コース以外の学生は医学薬学論、病院管理論を受講しておくこと
成績評価の方法・基準	学期末に行う定期試験（40％）学修意欲（30％）課題提出（30％）にて評価します。
教科書	教科書については、別途指示致します。
参考書・教材	
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知する）